

サトマール

基本情報

サトマール (Szatmár) は単なる都市ではなく、地域です。サボルチ=ザトマール=ベレグ(Szabolcs-Szatmár-Bereg) 県の最東端に位置し、ウクライナとルーマニアの国境に隣接しています。サトマールがあるサトマール平原(Szatmári-síkság)は、ルーマニアにまで広がっていますが、このガイドブックではハンガリー一部分に焦点を当てています。私がこの地域を選んだのは、ここで生まれ、私の心に近いからです。美しい森が多く広がっており、かつては文学の中心地であり、一流の作家たちが住んでいました。ブダペストからかなり離れているため、観光客の目には触れないかもしれませんが、文化や民芸品が非常に豊かな場所です。一般的に言って、中心地はひとつもなく、小さな村が点在しています。



プログラム

この地域では文化的プログラムがたくさんあります。春から秋の終わりまで、さまざまなテーマでヴィレッジ・デイが開催されます。例えば、チェンゲル (Csenger) では9月初旬にリンゴ祭りがあり、ミロタ (Milota) ではクルミ祭りが開催されます。残念ながら、サトマールにはレストランがあまりありません。サトマールのキャベツの詰め物 (ロールキャベツ) のようなこの地方の代表的な料理は、各家庭でしか味わうことができません。(残念ながら、伝統的なサトゥ・マーレのキャベツ詰めは地元の人しか食べられません。レストランではほとんど、あるいはまったくメニューにありません。)

ビレッジ・デイ以外にも、さまざまなプログラムが用意されています。

ティツァ川はここからハンガリーに入るため、例えばTiszaとTúr川でカヌーツーリングがあります。森林も多く、狩りに行く人も多いです。動物の生息数は結構豊饒なので、例えば鹿と



猪の子によく会います。また、この地域では、有名なPanyolai Elixír (パンヨラノエリクシル) 味を見る機会があります。そのエリクシルは、梅パーリンカです。(パンヨラでは、いわゆる「パーリンカ試飲遠出」に参加することができます。遠出では、パーリンカ蒸留の伝統とプロセスに垣間見

ることができます。遠出の締めくくりはパーリンカの試飲です。遠出中には、有名な梅パーリンカ Panyolai Elxir「パンヨラ ノ エリクシル」を試飲することができます。)パーリンカはハンガリの伝統的なお酒の総称です。この酒造場ではパーリンカ蒸留所の建物内部も見学することができます。



歴史



この平原では頻繁に増水が発生します。カルパチア山脈の近くでは雨量が多く、19世紀には治水工事が行われました。この地域の動植物相は非常に特異です。格子柄百合(チェッカーリリー) (Kockásliliom) は数少ない種類の一つで、摘み取ることは違法であり、罰金が科されます。この地域には男爵たちの屋敷が点在しています。ある人物はこの村の畑を占有していました。多くの男爵が村の周辺地域を占有し、これは驚くべきことではありません。例えば、Kende 男爵は1344年に8つの村を占有しました。



有名人

Móricz Zsigmond (モーリッツ・ジグモンド) は作家の1人です。Tiszacsécse で生まれました。文章のテーマは自然主義と写実的な散文です。加えて、ラジオ局で働きハンガリーの有名な新聞『Nyugat』の編集者でした。出生地では Móricz Zsigmond の家に記念博物館が作られました。



Kölcsey Ferenc (ケルチェイ・フェレンツ) は詩人の1人で、ハンガリーの国歌を作詞しました。彼はSzatmárcsekeで生まれ、Kopjafás temetőには彼の記念碑があります。毎年1月22日のハンガリー文化の日には、政治家や権力を持つ人々がSzatmárcsekeを訪れます。



Karácsony Gergely (カラチヨニ ゲルゲー) は政治家1人です。Budapestの市長です。

Fehérgyarmatで生まれました。彼はカーロリ大学とELTEの出身です。教育や文化にも力を入れ、市の多様性を尊重する方針を採っています。



名所

サトマルには多くの名所があります。

Túristvándi(トゥリストヴァンディ)にはハンガリー唯一の稼働水車があります。現在、その水車は記念博物館として機能しています。



Nagyar (ナジャール)の村では、政治家である Luby Géza (ルビ・ゲーザ) が1877年から1879年にかけて建てたLuby城館博物館を訪れてみましょう。この城館のバラ園は噂によれば Margit-sziget(マルギット島)のバラ園と競い合ったそうです。ルビ・ゲーザは「薔薇の王」として人々から呼ばれました。多くの薔薇が彼の妻を幸せにするために植えられました。

ナジャールの村には有名なペートフィの木もあります。ここで有名なハンガリーの詩人、Petőfi Sándor(ペートフィ・シャンドル)が Tisza「ティサ」の詩を書きました。



サトマルチェケには有名な墓地もあります。その墓地の名前は Kopjafás temetőです。その小舟形の墓標が有名です。

ホテル・レストラン・お店



Fehérgyarmatには有名なレストランがあります。例えば、「Aranyvilla（黄金フォーク）」という名前のレストランがあり、腕利きなシェフがおり、料理は非常に高い水準です。価格も手頃なので、レストランはいつも混雑しているため、早めに予約をすると良いでしょう。 <https://www.aranyvilla.hu/>

また、Kocsordには「Kraszna」という名前のレストランがあります。この名前は近くにある川に由来しています。KrasznaはAranyvillaと同様に素晴らしいレストランですが、異なる点は、Krasznaの近くに高速道路が通っていることで、客層は移動している人や旅行者が主です。 <https://krasznavigado.hu/>



Fehérgyarmatには「Sarki Kredenc」という名前の手工業者ベーカリーもあります。品揃えは非常に豊富で、サービスも本当に親しげです。



<https://www.facebook.com/p/Sarki-Kredenc-100088141688614/>



Szatmárにはあまりホテルはありませんが、ゲストハウスはたくさんあります。例えば、Rozsályには「Igi ゲストハウス」があり、ジャクージとサウナの利用が可能です。一泊の料金は最低13,000 Forint (フォリント) です。地元の観光名所が近くにあるので、宿泊先として優れています。

<https://szallas.hu/igi-vendeghaz-rozsaly?ref=list&adults=2&provision=1&listIndex=23>

また、Panyolaにある「Nemtudom ゲストハウス」も非常に魅力的な宿泊先です。このゲストハウスは興味深い名前を持っています。「Nemtudom」はハンガリー語の「Nem tudom」から派生しており、「知りません」という意味です。この「Nemtudom」という言葉は梅の品種の名前でもあります。名前の由来は、ハンガリーの人々が梅の起源を「知らない」と考えたことにあります。伝統的に、梅の名前「Nemtudom」が採用され、正確にハンガリー人はこの2つの言葉を別々に書きます。ゲストハウスには専用の駐車場があり、プール、グリル、魚釣りの機会もあります。庭はSzamos川に面しています。一泊の料金は最低15,000



Forint (フォリント) です。

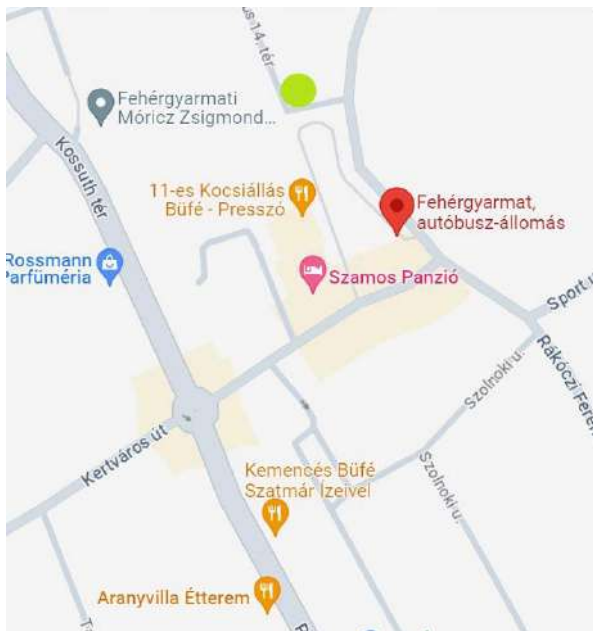
<https://szallas.hu/nemtudom-vendeghaz-panyola?ref=list&adults=2&provision=1&listIndex=24>

地図

SzatmárはBudapestから約295 km離れています。簡単な電車での旅行は3~5時間ほどかかります。残念ながら移動時間が少し長いかもしれません。Fehérgyarmatからそれぞれの村までのバスがあります。それぞれの村はFehérgyarmatからのバスに適した場所に位置しています。村は自転車に良い場所かもしれませんが、最良の方法は歩くことかもしれません。どの村もそれほど広くありません。

Fehérgyarmat

それぞれの村に行くバスステーション、**Aranyvilla** レストラン、Sarki Kredenc手工業者ベーカリーがあります。これらの場所は近いので車は必要ありません。市街地を眺めながら歩くのが一番です。

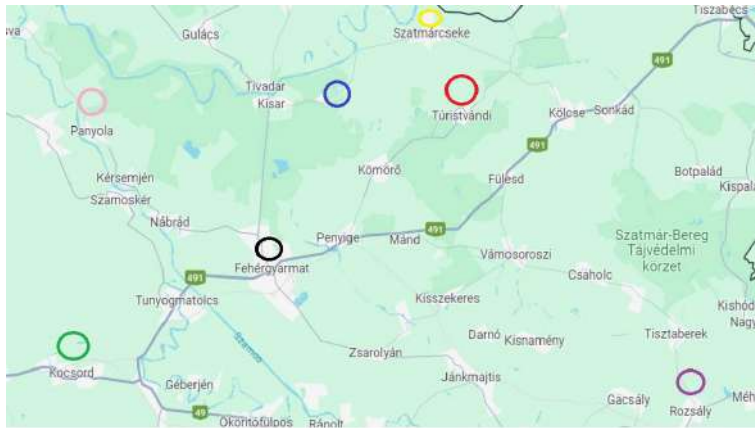


Fehérgyarmatバスステーション

Aranyvillaレストラン

Sarki kredenc手工業者ベーカリー

Fehérgyarmatの近くにある村



Panyola- Nemtudom ゲストハウス、Elixir Ház

Panyolaへのバスは2時間おきに運行され、バス番号は4368で、所要時間は30分弱です。

Kocsord- Kraszna レストラン

Kocsord行きのバス（4218番、4325番、4237番）は20分おきに運行され、所要時間は20分です。

Nagyar-Petőfiの木, Luby 城館博物館

Nagyarまでのバス（4350番）は1時間半ごとに運行され、所要時間は20分です。

Túrístvándi- 水車

Túrístvándiへはバス（4352番）が2時間20分おきに出ている。

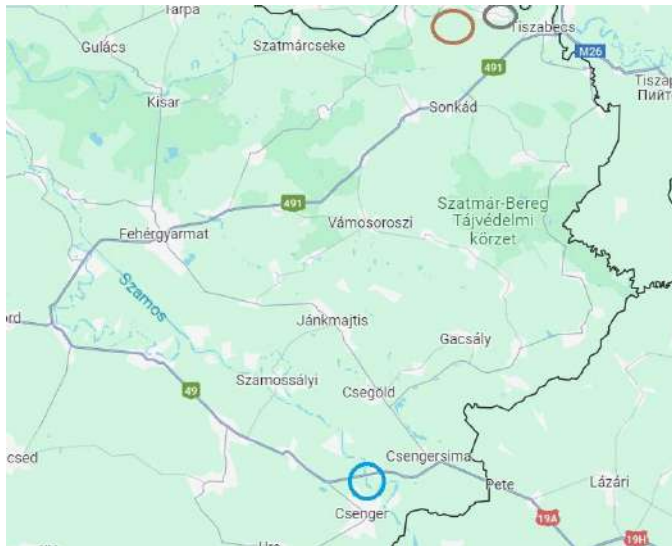
Szatmárceke- Kopjafás temető, Kölcsey 記念碑

SzatmárcekeはTúrístvániと同じ路線ですが、所要時間は10分長いです。

Rozsály - Igi ゲストハウス

Rozsály行きのバスは複数本あり（4356番、4361番、4360番）、所要時間はバスによって異なり、約40～50分です。

Fehérgyarmatからちょっと離れたところにある村



Csenger- リンゴ祭り

Csengerまでの所要時間は1時間10分で、乗り換えを含めても最も長いです。Győrtelekで4218番から4326番に乗り換え、同じ場所で4325番から4326番にも乗り換えます。Fehérgyarmatからは1時間に1本出ています。

Milota- クルミ祭り

Milotaへは4352番のバスも2時間おきに1時間ずつ運行します。

Tizsacsécse- Móricz Zsigmond 記念博物館

4352番のバスもTizsacsécseに向かいますが、Milota手前で50分ほど早めに降りる必要があります。天気が良ければ、観光客は一般的に自転車で移動し、距離もそれほど長くないため、サイクリングしながら美しい景色を楽しんだり、観光名所に立ち寄ったりすることができます。

最後に、この地域がいかに美しく、文化的に豊かであるかをお伝えしたいと思います。残念ながら、ここは国の中心部から非常に遠く、あまり観光客が訪れません。知る人ぞ知る、この国の隠れた宝なのです。サトマールに興味を持っていただき、できるだけ多くの方に訪れていただければ幸いです！心よりお待ちしております！

第1回目授業

先輩のガイドブック:

私が選んだガイドブックはセゲドのガイドブックだ。このガイドブックが気に入ったのは、情報が豊富でありながら、詳細すぎないことだ。圧倒されない。町の歴史、ここで生まれた有名人、有名な場所、イベント、交通機関が載っている。Dóm térのようなセゲドの有名な場所や、街のもう一つの有名な場所について語っている。コンサートやミュージカルはこの広場で行われることが多い。ガイドブックには、セゲドにはたくさんのイベントがあると書いてある。その街を紹介するとき、イベントは最も重要なことだからだ。もちろん観光することもできるが、その街の文化的な生活を知りたいのであれば、イベントが一番だ。ガイドブックの後半には、旅行中に泊まれるホテルがリストアップされている。また、ハンガリーの魚のスープなど、セゲドで一般的に食べられている食べ物についても書かれている。このガイドブックの構成がとても気に入っています。とてもためになるし、セゲドの街についてたくさん学ぶことができた。